

## 授業改善書

科目名	政治学
担当者	伊藤 肇

### 授業の概要

今期も教科書を用いながら、政治学の基礎からグローバルな規模で課題となっている諸問題およびそれをめぐる対立構造といったことについて新聞の記事などを参考にしつつ講義形式で考察していった。(その際、「国家」という概念を中心に進めた。)これまでと同様、計3回授業内にて小テストを実施した。

### 授業の問題点

上記のとおり、3回実施した小テストの成績に関して、これまでは徐々に平均点が上昇していく傾向が見られたが、残念ながら今期については回を追うごとに改善されていった、という傾向は認められなかった。また、受講者に様々な政治的な問題に対して興味を持ってもらうため、たとえばヨーロッパで話題となっている「ベーシックインカム」構想について、スイスの国民投票の結果などを紹介しながら講義を進めたつもりであるが、小テストの結果や期末試験での論述問題に書かれた内容から判断すると受講者の関心を引き出すことはあまり出来なかったようである。

### 授業改善の課題・方策

「アンケート」の項目のうち、「ノートは取りましたか」という設問に比べて「授業外学習をしましたか」という設問に対する回答が相対的に低い。講義の最初に「予習をする必要はないのでその分、定期的実施する小テストのためにもノートを読み返すなどして復習をしっかりとるように」と伝えておいたが、授業に出てノートを取るだけで満足してしまった受講者が多かったようである。この点を改善するために、これまで3回実施してきた小テストの回数を増やしていこうと考えている。小テスト対策として復習する機会が増え、学習する習慣が身につけば、テストの成績の向上とともに学問に対する興味が増加することも期待できるからであるが、逆に「やらされ感」を感じてますます勉学を遠ざけることになるかもしれない。ただ、社会に出た場合、当然知っておかねばならないこと・知っていないと恥ずかしいことなどを中心に「詰め込み式」で勉強することの必要性も感じている。これまでちょっと甘すぎたかな、という反省を踏まえて少し厳しく対応していきたいと思っている。

### その他